



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 カシオ計算機株式会社

コード番号 6952 URL <http://casio.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 樫尾 和雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務・IR担当

(氏名) 高木 明徳

TEL 03-5334-4852

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	69,141	△0.1	3,658	409.5	2,806	366.5	1,634	787.4
24年3月期第1四半期	69,189	△22.6	718	△70.9	601	△60.4	184	△81.2

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △22百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △148百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	6.08	6.08
24年3月期第1四半期	0.68	0.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	346,857	144,662	41.6
24年3月期	366,212	149,254	40.7

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 144,426百万円 24年3月期 149,005百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	17.00	17.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の配当予想額は未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	155,000	3.2	8,000	152.9	7,000	183.9	4,000	341.0	14.88
通期	320,000	6.1	20,000	120.6	17,000	143.6	10,000	291.2	37.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） ― 、 除外 ― 社 （社名） ―
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
 - ④ 修正再表示 ： 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期1Q	279,020,914 株	24年3月期	279,020,914 株
25年3月期1Q	10,168,202 株	24年3月期	10,167,943 株
25年3月期1Q	268,852,845 株	24年3月期1Q	268,855,455 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 2.平成25年3月期の配当予想額につきましては、今後の事業環境等を見極める必要があり、現時点では未定とさせていただきます。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。
- 3.決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における内外経済は、緩やかな復興需要が継続する一方、深刻化する欧州債務問題の世界経済への波及、長期化する円高の影響などにより、依然として先行き不透明な状況のまま推移しました。

この環境下、当第1四半期連結累計期間の売上高は、連結子会社の事業譲渡等の影響により、対前年同期比0.1%減の691億円となりました。セグメント別内訳は、コンシューマが3.0%増の514億円となりました。時計は「G-SHOCK」、「EDIFICE」といったブランドが、北米やアジアなどの海外で好調に推移し増収となりました。また、女性向け時計市場においても「SHEEN」を軸に拡大を図りました。電子辞書は「EX-word」シリーズの販売が好調に推移し大幅な増収となり、引き続き国内でのトップシェアを維持しました。システムは全品目増収により93億円となりました。また、その他については、83億円となりました。

損益につきましては、コンシューマは60億円の営業利益となりました。デジタルカメラは赤字を解消し、時計や電子辞書は引き続き高収益性を維持しました。システムは13億円の営業損失、その他は0.8億円の営業損失となりました。この結果、調整後の連結合計として36億円の営業利益となりました。また、経常利益は28億円、四半期純利益は16億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権の減少などにより、前連結会計年度末比193億円減少の3,468億円となりました。純資産は配当金支払などにより、前連結会計年度末比45億円減少の1,446億円となりました。その結果、自己資本比率は41.6%となりました。

当グループは今後も引き続き事業資産の効率的運営の徹底を図り、安定的且つ強靱な財務体質の構築に取り組みます。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点での平成25年3月期の連結業績予想につきましては、前回予想（平成24年5月11日公表）に対して変更はありません。

当グループは今後も全世界で通用する独自技術を活かした新製品の積極的な世界展開により、長期的視点に立った収益力強化、経営・財務体質強化に取り組めます。

(注) 業績見通しについて

①為替水準は1US\$＝80円、1ユーロ＝100円を想定しております。

②業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与える要素としては、当グループの事業をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする主要為替相場の変動、製品販売価格の大幅な変動などが考えられますが、これらに限られるものではありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。この変更が損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,128	50,417
受取手形及び売掛金	57,923	43,194
有価証券	49,861	40,503
製品	29,358	34,688
仕掛品	5,955	7,959
原材料及び貯蔵品	10,276	8,711
その他	38,066	38,122
貸倒引当金	△545	△505
流動資産合計	244,022	223,089
固定資産		
有形固定資産		
土地	37,487	37,469
その他（純額）	24,922	25,786
有形固定資産合計	62,409	63,255
無形固定資産	5,942	5,740
投資その他の資産		
投資有価証券	33,150	31,316
その他	20,706	23,473
貸倒引当金	△17	△16
投資その他の資産合計	53,839	54,773
固定資産合計	122,190	123,768
資産合計	366,212	346,857

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,682	37,621
短期借入金	3,817	3,702
未払法人税等	1,914	1,713
製品保証引当金	840	840
その他	35,332	35,211
流動負債合計	91,585	79,087
固定負債		
社債	30,710	30,135
新株予約権付社債	250	250
長期借入金	77,457	77,008
退職給付引当金	11,295	2,481
役員退職慰労引当金	1,842	1,806
その他	3,819	11,428
固定負債合計	125,373	123,108
負債合計	216,958	202,195
純資産の部		
株主資本		
資本金	48,592	48,592
資本剰余金	65,703	65,703
利益剰余金	55,218	52,281
自己株式	△8,590	△8,590
株主資本合計	160,923	157,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	490	△226
繰延ヘッジ損益	△238	△214
為替換算調整勘定	△12,170	△13,120
その他の包括利益累計額合計	△11,918	△13,560
少数株主持分	249	236
純資産合計	149,254	144,662
負債純資産合計	366,212	346,857

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	69,189	69,141
売上原価	44,964	43,151
売上総利益	24,225	25,990
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	7,842	7,690
その他	15,665	14,642
販売費及び一般管理費合計	23,507	22,332
営業利益	718	3,658
営業外収益		
受取利息	256	156
為替差益	41	—
金利スワップ評価益	37	—
その他	149	105
営業外収益合計	483	261
営業外費用		
支払利息	244	287
持分法による投資損失	218	—
為替差損	—	655
その他	138	171
営業外費用合計	600	1,113
経常利益	601	2,806
特別利益		
退職給付制度改定益	—	385
その他	0	6
特別利益合計	0	391
特別損失		
固定資産除却損	38	13
投資有価証券評価損	—	764
事業譲渡損	1,970	—
その他	1,330	4
特別損失合計	3,338	781
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△2,737	2,416
法人税等	△2,904	806
少数株主損益調整前四半期純利益	167	1,610
少数株主損失(△)	△17	△24
四半期純利益	184	1,634

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	167	1,610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	△716
繰延ヘッジ損益	△7	24
為替換算調整勘定	△294	△940
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	△0
その他の包括利益合計	△315	△1,632
四半期包括利益	△148	△22
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△132	△8
少数株主に係る四半期包括利益	△16	△14

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンシューマ	システム	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	49,991	7,905	11,293	69,189	—	69,189
(2) セグメント間の内部 売上高	2	96	1,403	1,501	△1,501	—
計	49,993	8,001	12,696	70,690	△1,501	69,189
セグメント利益 又は損失(△)	3,199	△1,834	220	1,585	△867	718

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△867百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△867百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンシューマ	システム	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	51,472	9,353	8,316	69,141	—	69,141
(2) セグメント間の内部 売上高	0	54	697	751	△751	—
計	51,472	9,407	9,013	69,892	△751	69,141
セグメント利益 又は損失(△)	6,064	△1,318	△82	4,664	△1,006	3,658

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,006百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,006百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。